

体育科学学位プログラム(博士後期課程)

体育科学学位プログラム(博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBTP001	研究方法論I	1	1.0	1	春AB	水1	岡本 正洋, 小野 誠司, 深澤 浩洋, 清水 紀宏, 澤江 幸則, 武政 徹, 小池 関也, 木塚 朝博, 三森 ゆりか, ラクワール ランディープ	将来にわたって自立して研究していくための研究方法の基礎を広く学習し、体育科学を俯瞰して洞察する。	必修 02JH001と同一。 対面
OBTP002	研究方法論II	1	1.0	1	秋AB	水1	坂本 拓弥, 平田 浩祐	共同プロジェクトの企画について検討することを通して、博士論文作成のための研究方法、成果の発表方法を習得する。	02JH002と同一。 対面
OBTP003	研究セッション	2	3.0	1	通年	随時	小野 誠司, 大石 純子, 大藏 倫博, 麻見 直美, 木塚 朝博, 工藤 重忠, 小池 関也, 齋藤 健司, 齋藤 まゆみ, 酒井 利信, 佐藤 貴弘, 清水 諭, 清水 紀宏, 武政 徹, 鍋倉 賢治, 西保 岳, 深澤 浩洋, 藤井 範久, 榎本 靖士, 片岡 千恵, 澤江 幸則, 仙石 泰雄, 角田 憲治, 田 暁潔, 永田 真一, 藤井 直人, 雨宮 怜, 大林 太郎, 岡本 正洋, 姜 泰安, キム セツピョル, エステラ, 國部 雅大, 坂本 拓弥, 佐渡 夏紀, 下竹 亮志, 醍醐 笑部, 角川 隆明, 平田 浩祐, 松井 崇	研究方法、研究計画に関する具体的な事例を取り上げ討論し、体育科学に関する基礎的、応用的な方法論を具体的に吟味する。	必修 対面
OBTP011	健康スポーツ科学研究演習I	2	1.0	1	通年	随時	小野 誠司, 大石 純子, 大藏 倫博, 麻見 直美, 木塚 朝博, 工藤 重忠, 小池 関也, 齋藤 健司, 齋藤 まゆみ, 酒井 利信, 佐藤 貴弘, 清水 諭, 清水 紀宏, 武政 徹, 鍋倉 賢治, 西保 岳, 深澤 浩洋, 藤井 範久, 榎本 靖士, 片岡 千恵, 澤江 幸則, 仙石 泰雄, 角田 憲治, 田 暁潔, 永田 真一, 藤井 直人, 雨宮 怜, 大林 太郎, 岡本 正洋, 姜 泰安, キム セツピョル, エステラ, 國部 雅大, 坂本 拓弥, 佐渡 夏紀, 下竹 亮志, 醍醐 笑部, 角川 隆明, 平田 浩祐, 松井 崇	健康スポーツ科学に関する最先端の研究の遂行、指導を行い、その成果を国際論文として発表するために必要な学習と指導を、個別及びチームで実施する。	必修 対面

OBTP012	健康スポーツ科学研究演習II	2	1.0	2	通年	随時	小野 誠司, 大石 純子, 大藏 倫博, 麻見 直美, 木塚 朝博, 工藤 重忠, 小池 閑也, 齋藤 健司, 齋藤 まゆみ, 酒井 利信, 佐藤 貴弘, 清水 諭, 清水 紀宏, 武政 徹, 鍋倉 賢治, 西保 岳, 深澤 浩洋, 藤井 範久, 榎本 靖士, 片岡 千恵, 澤江 幸則, 仙石 泰雄, 角田 憲治, 田 咲潔, 永田 真一, 藤井 直人, 雨宮 怜, 大林 太郎, 岡本 正洋, 姜 泰安, キム セツピョル, エステラ, 國部 雅大, 坂本 拓弥, 佐渡 夏紀, 下竹 亮志, 醍醐 笑部, 角川 隆明, 平田 浩祐, 松井 崇	健康スポーツ科学Iを踏まえ、その内容をさらに向上・発展させ、その成果を基に国際誌に掲載可能な論文を作成する。	必修 対面
OBTP021	プロジェクトローテーション	3	1.0	1	通年	随時	雨宮 怜, 松井 崇	課題解決研究I・IIを推進するための基礎として、複数の実践的研究プロジェクトに参加し、各自が実践的研究を遂行するために必要な知識と技能を修得する。	選択 対面
OBTP022	課題解決研究I	2	2.0	2	通年	随時	松井 崇, 西保 岳, 小野 誠司	プロジェクトローテーションでの経験を基盤とし、研究指導教員及びプロジェクトリーダーの指導を受けながら、実践的研究プロジェクトにメンバーとして参加し、研究・実践を推進して報告書を作成する。	選択
OBTP023	課題解決研究II	2	2.0	3	通年	随時	松井 崇, 西保 岳, 小野 誠司	課題解決研究Iの経験と成果を踏まえて、実践的研究プロジェクトに参加し、特定の研究テーマを中心的役割を担って推進する。	選択
OBTP024	プロジェクトフォーラムI	2	1.0	1・2	通年	随時	岡本 正洋, 國部 雅大	実践的研究プロジェクトの遂行に際して、毎年、研究成果の発表と次年度の研究計画のプレゼンテーションを行うためのプロジェクトフォーラムを開催する。受講生は、そのフォーラムの企画・運営に携わるとともに、各自の研究計画及び成果を発表する。	選択
OBTP025	プロジェクトフォーラムII	2	1.0	2・3	通年	随時	岡本 正洋, 國部 雅大	プロジェクトフォーラムIの内容を踏まえ、更に進展・発展的な実践的研究プロジェクトの遂行に際し、研究成果の発表と次年度の研究計画のプレゼンテーションを行うためのプロジェクトフォーラムを開催する。受講生は、そのフォーラムの企画・運営に携わるとともに、各自の研究計画及び成果を発表する。	選択
OBTP031	国際ディベート合宿I	2	1.0	1・2	通年	随時	藤井 直人, 松井 崇, 雨宮 怜, 國部 雅大, 岡本 正洋	設定したテーマに関して、最先端の研究者を国内外から招聘し、学際的な研究領域の教員及び受講生が参加して、英語で集中討議を行う	選択 対面
OBTP032	国際ディベート合宿II	2	1.0	2	通年	随時	藤井 直人, 松井 崇, 雨宮 怜, 國部 雅大, 岡本 正洋	国際ディベート合宿Iの経験を踏まえ、設定したテーマに関して、最先端の研究者を国内外から招聘し、学際的な研究領域の教員及び受講生が参加して、英語で集中討議を行う。受講生は、合宿の企画・運営に携わるとともに、各自の研究計画及び成果を発表、並びに司会等を担当することで、国際的ディベートに必要な技能を習得する。	選択 対面
OBTP033	国際フォーラムI	2	1.0	1・2	通年	随時	國部 雅大, 岡本 正洋	健康スポーツ科学に関する各自の研究の成果を、国際会議等の場で実際に発表する。その前後において、必要な準備、ディスカッションと指導を行う。	選択
OBTP034	国際フォーラムII	2	1.0	2・3	通年	随時	國部 雅大, 岡本 正洋	次世代健康スポーツ科学履修モデルの学生は、『国際フォーラムI』の内容を踏まえ、健康スポーツ科学に関する各自の研究の成果を、国際会議等の場で実際に発表する。その前後において、必要な準備、ディスカッションと指導を行う。標準履修モデルの学生は、健康スポーツ科学に関する各自の研究の成果を、国際会議等の場で実際に発表する。その前後において、必要な準備、ディスカッションと指導を行う。	選択